

令和 2 年度 出版部活動報告

今年度、出版部では、「都中英研だより 74号」と「中英研究会報 79号」を発行した。例年であれば、年に数回の部会を開き、編集企画会議や校正作業、また、各自の授業実践や、都や各地区の動向についての情報交換等を行ってきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、集合して部会を行うことはほぼできなかった。

4月からの一斉臨時休業期間には、まず、SNSを活用し、部員相互の情報交換を始めた。そこでは、臨時休業期間の学習保障について、また、学校再開後の感染症対策の中での英語の授業のあり方などについて、情報交換を進めた。

6月の学校再開後、情報交換と共に、「都中英研だより」作成に向け、始動した。今年度は、各部の活動や都の研修等が軒並み中止や規模縮小となっていく中で、「都中英研だより」にできることは何かを考え、紙面構成を一から練り直した。編集、校正作業はSNS上で進め、集合しての部会は開催しなかった。

11月、会報の作成に向けて、集合とオンラインの併用（集合かZOOMを選択して参加）で部会を実施した。「都中英研だより」同様、内容については紙面構成を見直し、できる限りの情報提供、情報発信に努めた。編集、校正作業は全てSNSを活用して進めた。「都中英研だより」と違い、60ページを超える紙面の編集・校正を行うことには不安もあったが、全部員の協力により期限内に作業を終えることができた。発送作業では、部員が集合できないこと、都交換が利用できない地区が増えていることなどもあり苦労した。

今年度、活動の仕方を変えたことで、メリットもあった。例年、地理的な問題から、部会に全員が揃うことは難しかったが、勤務地に関わらず、全部員の参加が可能となった。また、情報共有や作業のスピードも上がった。今後、また集合して部会や作業が行えるようになって、両方の良さをうまく取り入れながら、進めていきたいと考えている。

最後に、今年度は、本当に多くの方に多大なご協力をいただき、「だより」「会報」を発行することができました。お忙しい中、出版部の活動にご理解、ご協力いただき、予定した全ての原稿を掲載することができましたことを改めて感謝申し上げます。

・「都中英研だより」第74号（10月30日発行）掲載内容

会長挨拶、中学校における「話すこと」の指導の充実に向けて、令和2年度・第73回英語学芸大会についてのご案内等

・「令和2年度 中英研究会報」第79号（3月1日発行）掲載内容

「新しい日常」を意識して、新学習指導要領の確実な実施のための指導と評価の一体化、コミュニケーション活動を取り入れる前に、東京都教育委員会の取り組み、東京都教職員研修センターにおける外国語（英語）に関する研修について、「今、小・中学校の英語教育に求められるもの」、英語学芸大会報告、実践研究報告、研究大会報告、各地区の活動状況、中英研事業報告、各部活動報告等

（出版部長 今本 由美子）